

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 650 号	氏名	鶴長 容子
学位審査委員		主査	前村 浩二
		副査	江石 清行
		副査	蒔田 直昌
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 臓器の虚血再灌流時にある種の薬剤を投与すると、虚血再灌流による臓器傷害が軽減することが知られており、薬理的ポストコンディショニング効果とよばれている。本研究はホスホジエステラーゼ III 阻害薬であるオルプリノンの腎臓、心臓に対するポストコンディショニング効果を検討したものであり目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 Sprague-Dawley ラットを用いて、腎動脈を 45 分間遮断し、開放直後にオルプリノンを投与して 24 時間後の腎機能への影響を検討した。また心臓への影響は、冠動脈前下行枝を 30 分結紮し開放直前にオルプリノンを投与し、120 分再灌流後の心筋梗塞範囲を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、オルプリノンにより、腎虚血再灌流後の腎機能低下抑制効果と、心臓虚血再灌流後の心筋梗塞範囲縮小効果を認めた。今後、心臓や腎臓手術の際のポストコンディショニング効果をねらった治療への応用が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は麻酔、蘇生学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			